平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業ビジネス支援課
担当名：農地活用担当
内線：4033　　（単位：千円）

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
B11	見沼農業活性化対策事業	一般会計	農林水産業費	農業費	農業振興費	見沼農業振興対策費

事業期間	平成12年度～	根拠法令	なし	宣言項目	09　　儲かる農業の推進
				分野施策	051245　みどりの保全と再生

1　事業概要

貴重な都市近郊緑地空間である見沼田圃を保全・活用・創造していく上で、見沼農業が果たす役割は極めて重要となっている。
このため見沼農業の振興対策、支援体制の整備及び公有地化農地活用対策を講じ、見沼田圃の保全・活用・創造を図る。

（1）農業経営指導事業
事務費の節減　△3千円
（2）公有地化農地活用対策事業
契約金額の減額　△1,530千円

2　事業主体及び負担区分

（県10/10）

3　地方財政措置の状況

なし

4　事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員

9,500千円×0.4人＝3,800千円

5　事業説明

（1）事業内容
ア　農業経営の振興対策　56千円　→　53千円
見沼田圃における農業経営及び生産技術を指導する。
イ　見沼農業支援体制の整備　1,499千円
市民農園教室や農業体験教室など都市住民を対象とする農業体験イベントの開催や、農地調整活動等の業務を農林公社に委託する。
ウ　公有地化農地活用対策　40,940千円　→　39,410千円
公有地化農地の有効活用を図るため、公有地管理業務を農林公社に委託する。

（2）事業計画
ア　担い手の組織的活動の推進、栽培技術研修会等の開催、市・ＪＡ等関係機関との連携、地域農業イベントの支援
イ　市民農園教室や農業体験教室の開催、見沼田圃内の農地の担い手へ農地集積を図るための情報収集・情報提供
ウ　公有地化農地の適正管理

（3）事業効果
都市と調和した特色ある見沼農業が営まれることで、見沼田圃の保全・活用・創造に資する。

（4）その他
見沼田圃全面積　約1,262ha（うち農地約532ha）見沼田圃内公有地　約31ha

（5）補正事業の概要
ア　事務費の節減による減額
イ　農地管理面積の減少による契約金額の減額

予算額		財源内訳 繰入金						一般財源	補正後の予算額
決定額	△1,533	△1,530						△3	40,962
現計額	42,495	40,940						1,555	